

## 薄い紺

あるべきところに  
水の流れ  
あるかなきかの  
空の雲

かの咳きは誰にも届かず  
ただ  
その音色のみ  
大気に溶ける

日々の暮らしが  
何気ないほど  
深く沈んでゆく  
揺れ動く心の<sup>おじ</sup>滓

引き摺りたくはないが  
纏っていたい気はする  
纏い続けていたい気はする

(2000.7.25)